

2019 年度実施概要

学校名

東京都北区立東十条小学校

採択活動名

海育科 4年・海と人とのかかわり、5年・伝え合おう海の生き物、6年・海と生きる

取り組みの概要

本校は東京都北区という海に隣接していない環境にある。このような内陸にある学校が、地域独自の海洋教育の単元開発に取り組み、学習を進めるために以下の3点を拠り所として考え学習を実施した。

① 学習指導要領にある学習内容や既習事項との関連させることができる学習

5年「海の資源とこれからのわたしたちの暮らし」

…社会科「これからの工業生産とわたしたち」と関連させた海育科の学習

6年「海を知り海と生きる」

…理科「水溶液の性質とはたらき」の学習と関連させた海育科の学習

② 本校の特色ある教育活動と結び付けることができる学習

4年「海とかかわる人々の暮らし」

…社会科「島の自然を生かした人々の暮らし八丈島」の学習と関連させ、本校が姉妹校盟約を結ぶ3つの小学校がある与論島での海の暮らしを知る学習

③ 本区の宿泊行事で体験することができる学習

4年「プランクトンをさがせ！チリメンモンスターの世界」

…1泊2日岩井移動教室でお茶の水女子大SEC及び海洋教育センターの支援を受けて行った初めて海育科の学習、ちりめんじゃこの中に混ざった小さな生き物をさがす活動

5年「岩井の果てまで行ってSEA～岩井自然体験教室～」

…3泊4日岩井自然体験教室で、千葉県館山市立館山小学校との交流学习等、海をテーマにした活動を行い、その中から自分でテーマを設定し調べていく学習活動

1. 「海と人とのかかわり」(第4学年)

(1) 海育科「プランクトンをさがせ！チリメンモンスターの世界」…岩井での宿泊学習の中で、ちりめんじゃこを使用し、その中に混ざっているプランクトン等を探しながら実際に観察したり、触れたりして理解し、その生き物の海での役割の大切さや食物連鎖などについて知る。

(2) 海育科「海とかかわる人々の暮らし」、社会科「島の自然を生かした人々の暮らし 八丈島」で学習内容(そこに住む人々は地形や季候などの自然環境を生かしながらくらししている)を生かして、本校と姉妹校盟約を結ぶ小学校のある与論島を学習し、与論の海で暮らす人々の生活を知るとともに、関心や意欲をもつ。

2. 「伝え合おう海の生き物」(第5学年)

(1) 海育科「岩井の果てまで行ってSEA～岩井自然体験教室～」…千葉県館山市立館山小学校との交流学习(計画は館山市立西岬小学校であったが施設の都合により変更)ではマコモの種まきを中心に、3泊4日で「海」にかかわる5つの活動(海岸散策・館山小との海洋学習交流・ビーチコーミング・ヒトデの観察・海苔すき体験)を通して、自分が興味をもった研究テーマを設定し問題解決的な学

習を行った。

- (2) 海育科「海の資源とこれからのわたしたちの暮らし」…社会科「これからの工業生産とわたしたち」のエネルギー資源での輸入等との学習と関連させ、海底資源の可能性と問題について理解させ、環境とエネルギーについて考えさせる学習を行った。

3. 「海と生きる」(第6学年)

- (1) 海育科「海を知り海と生きる」…海水の性質について、理科「水溶液の性質とはたらき」の学習を思い起こさせることで、海に対する関心を高め、海水の酸性化について学ぶ中で地球温暖化のかかわりを知り、地球環境への関心と保全する態度を養った。

活動中の写真

デジタルデータにて2～3枚の添付をお願いします。

実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

1.	4年	海と人とのかかわり	海育科「プランクトンをさがせ！チリメンモンスターの世界」
2.	4年	海と人とのかかわり	海育科「海とかかわる人々の暮らし」
3.	5年	伝え合おう海の生き物	海育科「岩井の果てまで行ってSEA～岩井自然体験教室～」
4.	5年	伝え合おう海の生き物	海育科「海の資源とこれからのわたしたちの暮らし」
5.	6年	海と生きる	海育科「海を知り海と生きる」